

地域の自然と食の課題に取り組むプロジェクト

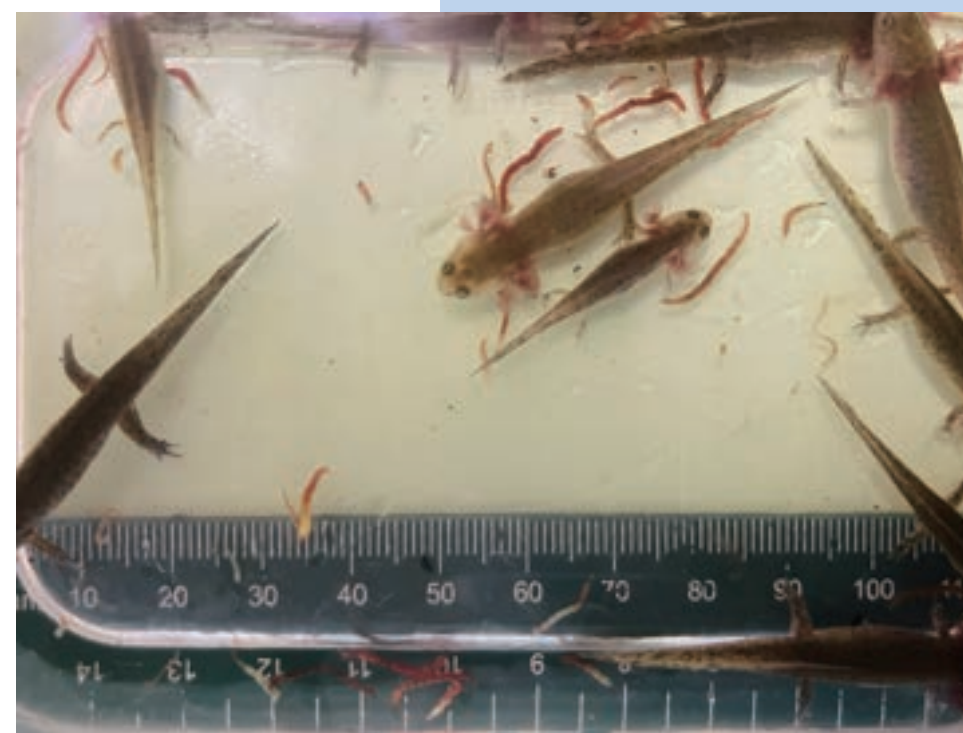
提供学科：経営情報学科

◎ 目的

千葉県を代表する自然である里山環境は、農業と密接に結びついている。

とくに、本学が立地している山武郡市域は、豊かな里山環境と農業などの一次産業が盛んである。

そこで、本プロジェクトでは、地域の自然環境の保全と食糧生産の持続可能性に関する地域課題について地域の方々と連携しながら取り組み解決することを目的としている。



◎ 実施内容

- ・地域の絶滅危惧種トウキョウサンショウウオの保全研究活動（山武個体群の分布調査、生息地の保全など）。
- ・大学近隣の里山に生息するヘイケボタルとゲンジボタルの保全と地域振興への活用（月一回）
- ・竹害の解決に向けた実験的な試みとして、竹炭をうどんに混ぜたうどんを考案し、企業のビジネスコンテストで提案を行った。
- ・いちご生産の援農の試みとして、人手不足解消のための販売支援とフードロスとして摘み取った苺の再活用事業を実施。
- ・移住者促進をはかる古民家カフェの運営を行い、提供する有機食材のメニュー考案。

◎ 学びの効果

参加学生は、1年を通じて、様々な地域で様々なプロジェクトを実践したことにより、東金市・山武市・いすみ市における様々なステークホルダーとの人間関係を育みながら一過性ではなく継続的な学びができた。

とくに、ほとんどの取り組みを学生主体で実施したことで、参加した学生は、主体性や責任感、プロジェクト推進力やチームワークを行える力を養うことができた。

地域×国生